

Start & Challenge

23日からパラアート展覧会

市内や近隣の障がい支援事業所の利用者の作品を展示する「パラアート展覧会 ミチはここから展 Vol.4」(狛江市共催、狛江市社会福祉協議会後援)が23日(金)～26日(日)午前10時～午後6時(最終日4時)に泉の森会館で開催される。

アートをきっかけに、障がいを持つ人と健常者との交流や相互理解を深めようと、「わたしたちはここにいるよプロジェクト」(今西千晶代表)が令和6年に初めて開催。ギャラリーでの展覧会のほか、駅前で野外アート展を開くなどの活動を行っている。

市民公益活動事業補助金チャレンジ補助金を受けて開催する今回は、市内を中心とした通所施設など10団体と個人参加の7組による様々なジャンルの個性豊かな絵画や立体作品約100点を展示する。25日(土)午後2時から日本画の固形絵具(顔彩)を使って参加者全員で1枚の和紙に絵を描く「顔彩ワークショップ」(参加無料)も催す。

また、各事業所への支援の一環として、食品や雑貨など事業所製品も販売する。入場無料。

問い合わせ Mkokoniruyo.project@gmail.com わたしたちはここにいるよプロジェクト。



3月に同会がほこみちで催した野外アート展

26日に和泉多摩川でぼかぼかマルシェ

和泉多摩川駅前のぼかぼか広場で26日(日)午前10時～午後2時に、交流プログラムイベント「ぼかぼかマルシェ」(同実行委員会主催)が開催される。

多摩川に近い恵まれた環境資源と歴史ある商店街の組み合わせを生かした交流拠点づくりと、市民が誇りを持つ景観を確保しようと、同委員会の目伯洋輔代表が市民公益活動事業補助金チャレンジ補助金を受け、昨年に引き続き開催するもの。

今年は「まなび、そなえ、ひろがり」をテーマに、狛江消防署や狛江ラジオ放送(コマラジ)、子どもの居場所作り活動をしている市民団体「まなびや」など地域の6団体が参加。子どもからおとなまで楽しめる体験ワークショップや、もしもの時に役立つ防災に関する展示やデモンストレーション、参加団体によるPRブースや商品・サービス紹介などが行われる。参加は自由。雨天時一部決行。

目伯さんは「ぼかぼか広場は多摩川という地域資源に恵まれた場所。参加する人たちと協力して地域らしさを表現し、新しい発見や交流のきっかけを生みたい」と話している。

問い合わせは ☎070-3365-5895 目伯さん。



昨年のぼかぼかマルシェ

3日から創作折り紙展 猪方の建築家が初の個展

一級建築士のかたわら、創作折り紙の本を出版して大きな反響を呼んでいる狛江市猪方の伊達博充さん(87)が初の折り紙展を泉の森会館で3日(金)～5日(日)に開催、毎日午前11時と午後2時に体験会を行う。

伊達さんは大手設計事務所に勤めた後、昭和41年に建築事務所を開設、現在も現役で活動、狛江市には約50年前から住んでいる。

6年前に孫にせがまれて恐竜を折ったのがきっかけで、折り紙のおもしろさに開眼、紙の造形芸術展に応募して入選するなどの活動を続けてきた。



伊達さん

伊達さんの折り紙はできるだけ少ない工程で雰囲気を出すのが特色。そのために2枚の紙を使う複合折り紙が多く、動物や鳥の雰囲気を表現するため、切り込みを入れたり、紙の表裏を使うこともある。また、包装紙やポスター、和紙などを使って意外性を楽しむという。

令和6年に脳科学者西剛志さんとの共著『脳科学でわかった! 80歳からでも若返るすごい脳活おりがみ』を出版したのが評判となり、今年に入って続刊となる『80歳からでも成長する脳活おりがみ』を出版、こちらも高い評価を得ている。

伊達さんは地元で多くの人に作品を見てもらい、楽しさを知って

もらおうと、個展を開くことにした。入場は無料。

問い合わせ ☎5497-5444 泉の森会館。

和泉多摩川商店街で 5日にいずみ市開催

和泉多摩川商店街振興組合が、5日(日)に第4回いずみたまフリーマーケット「いずみ市」を開催する。

同商店街の宝石店横の空き地で午前10時～午後3時30分に市内の団体や個人などが雑貨、衣料品、菓子など12店を出店する。また、午後4時30分～7時に商店街の道路でオープンテラスを催す。

問い合わせ Mmakiko@tree.treetree.net 同会事務局 清水さん。



Shop & Service Guide ...49

たいこらんど

たいこらんどは「音」を通して感性を養い、生きる力を育てることを目的とした0歳からの幼児教室。約48㎡の教室にはマリンバ、ジャンベ、マラカス、タンバリン、トライアングル、ハンドベルなど世界各地の約50種類の打楽器に加え、グランドピアノや音を出しながら体を動かすリトミック用のフラフープなどが置いてある。

教室を主宰する吉田千香さん(44)は千葉市出身で3歳からピアノを習っていたが、高等学校の吹奏楽部で打楽器を担当、プロの打楽器奏者の指導を受けて

打楽器を使い幼児の感性育てる 音楽教育のカリキュラムを完成



マリンバを演奏する吉田さん

☎6754-6697 岩戸北3-15-2 営業時間=午前10時～午後6時 定休日なし

岩戸八幡神社 岩戸南2-8-2

宵宮祭=4日(土)午後6時から素人演芸(氏子有志のカラオケ、舞踊ほか)。例大祭=5日(日)午前10時から式典、午前11時からおとな・子どもみこし、大太鼓、はやし連、山車の巡行。午後6時30分から芸能奉納(紙切り、津軽三味線、歌謡曲、民謡ショー)、夜店。☎3480-2470 須田

白幡菅原神社 猪方2-4-4

宵宮祭=11日(土)午後4時からはやし、獅子舞の奉納、狛江高校箏曲



たいこらんど

「ピアノとは違う打楽器の表現力の豊かさや楽しさ」に目覚めた。音楽に関わる仕事に就きたいと東京音楽大学に進学するとともに、在学中から音楽教室で打楽器を教えたり、リトミック教室を手伝った。卒業後、友人に頼まれて千葉市の公民館で始めた乳幼児向けのリトミックや打楽器の教室が好評で、首都圏の各地で教えるようになった。

狛江市でも平成19年に駅前の泉の森会館でリトミック教室を開設したが、受講する子どもが増えたため、24年に現在の場所へ移転した。

吉田さんは生の音を大切に、物体が震えて音が発生することを体験できるように、本革張りの太鼓を使っている。教室は生後8カ月以上を対象に乳幼児の発達段階によってクラス分けするほか、小学生以上にはピアノのクラスも開講、専門の講師が指導にあたっている。

子どもに教えるだけでなく、吉田さんは科学的根拠に基づいた幼児向け教育プログラムの研究を続け、音楽教育のカリキュラム「おといく指導員講座」を完成させるとともに、29年に一般社団法人日本音楽教育協会を設立、幼稚園教諭などを対象に普及活動を始めた。

吉田さんはマリンバ・打楽器奏者として国内各地で演奏、市内では親子と一緒にリズムを学んで楽しめるイベント「リズムポルライフ」に協力したり、音楽以外にも趣味のランニングを通して狛江市スポーツ協会の陸上競技協会や狛江市商工会青年部の役員なども務め、地域の活性化に協力している。

吉田さんは「子どもたち一人一人の個性を生かして伸ばせるよう心がけています」と話している。

夜店 ☎3489-6339 小川

小足立八幡神社 西野川2-33-1

宵宮=18日(土)午後1時から太鼓、はやし巡行。例大祭=19日(日)正午からみこし、太鼓、はやし連、山車の巡行。☎3489-8912 栗山

第56回多摩川ふるさと団地まつり

12日(日)午前10時30分～午後8時 多摩川住宅中央野球場。団地内をみこしと山車が練り歩くほか、盆踊り、太鼓演奏、キッチンカーなど。多摩川住宅の各号棟の6単位会で構成する多摩川住宅自治連合会の団地まつり実行委員会主催

日枝神社 駒井町1-6-11

部の演奏、奉賛会青年部、二中おやじの会有志による模擬店。例大祭=12日(日)正午から式典、午後0時30分から太鼓、はやし部山車、みこしの巡行。午後6時宮入、6時30分から狛江消防署、狛江第二中学校吹奏楽部、きんたの会の演奏。☎3489-8134 栗原

宵宮=11日(土)夕方から大太鼓巡行、おはやし奉納、夜店。例大祭=12日(日)正午から式典、午後0時30分からおとな・子どものみこし、大太鼓、はやし連、山車の巡行、